

## 2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合英語（1年 英検準1級）		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1年生	実務経歴 / Work Experiences 2007年より、本校及び企業において英語の4技能及び検定試験対策の指導。2009年より、主に警察関係の通訳業務。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40単位時間 (2単位)	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences

検定試験(英検)の上級合格を目指す為には、総合的・本質的な理解力と実践力(スピード)が求められる為、4技能全般において、「内容について考える」ことを重視する。

### 授業概要(学修内容・方法) / Course Description

ボキャブラリー：事前に配布する英単語リスト暗記する。授業中にゲームやペーパーテストを通じて、クイックレスポンスする。

リーディング：一定時間内に、各設問と本文の各段落及び文章全体の構造・意味を把握し、的確に解答する。

リスニング：初聴で問題解答に挑戦し、後で、各自ディクテーションをして音声と文字の関係を確認する。

ライティング：100語程度、3段落構成の簡易エッセイの形式で設問に対する自分の意見を書く。

スピーキング：社会問題に対して、迅速且つ完結に意見が述べられるように、思考力を鍛える。

### 授業目的・到達目標 / Course Objective

英語4技能の総合能力を向上させると共に、英検準1級に合格する為の効率的な解答手法を身に付ける。

週	授業計画 / Course Schedule
第1週/Week 1	模擬試験
第2週/Week 2	ボキャブラリー、リーディング
第3週/Week 3	リーディング、リスニング
第4週/Week 4	リスニング、ボキャブラリー
第5週/Week 5	スピーキング
第6週/Week 6	リーディング、ボキャブラリー
第7週/Week 7	リーディング、リスニング
第8週/Week 8	リスニング、ボキャブラリー
第9週/Week 9	ライティング、リーディング
第10週/Week 10	リスニング、ボキャブラリー
第11週/Week 11	ボキャブラリー、ライティング
第12週/Week 12	リスニング、リーディング
第13週/Week 13	リーディング
第14週/Week 14	模擬試験
第15週/Week 15	ボキャブラリー、ライティング
第16週/Week 16	スピーキング
第17週/Week 17	期末試験

### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

①英検準1級過去問題集(旺文社) ②英検でる順準1級(旺文社) ③キクタン英検準1級(アルク)

### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験40%・出席状況30%・授業参加姿勢30%により判断し、総合点によりA・B・C・D・F評価を決定する。

### 備考 / Memo

授業科目 Course Title		総合英語（英検 2 級）		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experiences 福岡外語専門学校にて教員経験 9 年
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes	17 週	単位時間 Credit ours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 自宅での学習を促し、授業では初見でのリスニング、特にエッセイの準備、フィードバックに力をいれる				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 過去問題に数多く取り組み、合格に必要な語彙、リスニング、リーディングの力をつける 合格のために重要なエッセイ作成に重点的に取り組む				
授業目的・到達目標 / Course Objective 英検 2 級の合格 それに見合う総合的な英語力を養う				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	実力テスト（過去問題使用）			
第 2 週/ Week 2	授業の概要（英検 2 級合格に向けての勉強の仕方、達成目標） 実力テストによる弱点分析 エッセイの書き方			
第 3 週/ Week 3	試験前の注意点 リスニング エッセイトピックディスカッション			
第 4 週/ Week 4	自己採点 やり直し 2 次試験対策			
第 5 週/ Week 5	2 次試験対策 練習			
第 6 週/ Week 6	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 7 週/ Week 7	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 8 週/ Week 8	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 9 週/ Week 9	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 10 週/ Week 10	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 11 週/ Week 11	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 12 週/ Week 12	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 13 週/ Week 13	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 14 週/ Week 14	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 15 週/ Week 15	期末試験			
第 16 週/ Week 16	期末試験返却 解説やりなおし			
第 17 週/ Week 17	再テスト リスニング エッセイ			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 出る順パス単 出る順合格問題集 過去 6 回全問題集				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title	総合英語 英検準 2 級		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期 Spring	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experiences 英会話学校 1 年 予備校指導歴 14 年 企業にて英文書類作成・外国人職員採用に係る人事業務経験あり
授業形態 Course type	講義 Lecture	単位区分	必修 Mandatory	
授業週数 Number of Weeks	17	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
授業の進捗状況に柔軟に対応し、課題を提供。自宅学習を促し、それぞれの学生の弱点補強を進めていく。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 毎回の単語テストを通じて単語力・語彙力の強化を進めていく。英作文は、書く機会を増やすことにより、苦手意識を無くしていく。リスニングに関しては能力向上のため毎回授業中に過去問に取り組むようにする。単語力・語彙力強化のため、各自単語帳を作る習慣を身につけていく。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 英検準 2 級の出題形式に慣れ、自分に合った時間配分を研究していく。設問ごとに解答するヒントになる箇所があるため、その箇所を見つけられるようにする。英検準 2 級だけではなく、他の各種試験、編入試験等に役立つ知識を身につける。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週 / Week 1	過去問演習を通じての出題形式の研究			
第 2 週 / Week 2	短文の語句空所補充問題			
第 3 週 / Week 3	短文の語句空所補充問題 単語テスト			
第 4 週 / Week 4	会話文の語句空所補充問題 単語テスト			
第 5 週 / Week 5	会話文の語句空所補充問題 単語テスト			
第 6 週 / Week 6	長文の語句空所補充問題 単語テスト			
第 7 週 / Week 7	長文の語句空所補充問題 単語テスト			
第 8 週 / Week 8	長文の内容一致選択問題 単語テスト			
第 9 週 / Week 9	長文の内容一致選択問題 単語テスト			
第 10 週 / Week 10	英作文 単語テスト			
第 11 週 / Week 11	英作文 単語テスト			
第 12 週 / Week 12	英作文 単語テスト			
第 13 週 / Week 13	英作文 単語テスト			
第 14 週 / Week 14	過去問演習 単語テスト			
第 15 週 / Week 15	過去問演習 単語テスト			
第 16 週 / Week 16	過去問演習 単語テスト			
第 17 週 / Week 17	過去問演習 単語テスト			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 英検過去問 (プリント教材) 英検準 2 級出る順合格問題集 (プリント対応) 授業用ハンドアウト教材				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		社会学 (1AB)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年生	実務経歴 / Work Experiences 講師経歴 14 年 担当科目：ビジネスマナー、SPI、 コミュニケーションスキル、就職対策
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経歴に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 疑問をわかりやすく解説し、自分に身近な問題として考えられるように資料・ワークを提供します。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 現代社会のニュースを読み解く力を育て、人生に活用する力を養います。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 新聞・TV やネットのニュースを理解し、自分の生活に生かせるようになる。 就職活動時に、一般常識・時事問題を読み解ける力をつける。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション (授業内容紹介・自己紹介)、「税」とは何か?			
第 2 週/ Week 2	1 私たちの民主主義			
第 3 週/ Week 3	2 日本国憲法のゆくえ			
第 4 週/ Week 4	3 外交と安全保障の課題			
第 5 週/ Week 5	4 地方自治の未来			
第 6 週/ Week 6	5/6 日本経済と世界経済			
第 7 週/ Week 7	9 減り続ける日本の人口			
第 8 週/ Week 8	10 社会保障のこれから			
第 9 週/ Week 9	11 働き、消費する私たち			
第 10 週/ Week 10	13 共生社会への道のり			
第 11 週/ Week 11	17 災害列島に生きる			
第 12 週/ Week 12	18 地球環境を守るために			
第 13 週/ Week 13	19 中国とアメリカの行方			
第 14 週/ Week 14	テスト対策			
第 15 週/ Week 15	期末テスト			
第 16 週/ Week 16	21 平和な世界どうやって I			
第 17 週/ Week 17	21 平和な世界どうやって II			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material <u>2022 年度版ニュース検定 公式テキスト&amp;問題集「時事力」基礎編 (3・4 級対応)</u>				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		心理学		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experiences 2013 年からアスリートの心理サポートに従事。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 心理学の基礎的、古典的な概念の理解から、応用（主にスポーツ心理学）までを取り扱う。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 受講者自身の視点で問題を受け止め、それをどう感じるのかに注目させていく。グループワークなどを中心に、自主的に問題を設定し、心理学の知識をつかって問題を解決していく力を養う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 心理学の各概念の説明ができる。実際の場面に心理学の知識を応用し問題を解決できる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週 / Week 1	オリエンテーション 成績評価の方法, 授業進行の説明			
第 2 週 / Week 2	思考の心理学 思考する時の人間の認知機能について解説, 考える実習			
第 3 週 / Week 3	記憶について 記憶するためのメカニズム解説 記憶の容量に気づくワーク 身体で覚える記憶術			
第 4 週 / Week 4	自分について考える アイデンティティの解説 自己分析ワーク			
第 5 週 / Week 5	動機づけについて 動機づけプロセスの解説 自分の動機づけに気づく実習			
第 6 週 / Week 6	目標設定 目標設定理論の解説 年度内の目標の設定			
第 7 週 / Week 7	コミュニケーションの心理学 コミュニケーション能力の解説 コミュニケーションワーク			
第 8 週 / Week 8	対話について 対話を理解するためのコミュニケーションワーク実習			
第 9 週 / Week 9	交流分析 交流分析の理論解説 エゴグラム 日常のやり取りの構造に気づくワーク			
第 10 週 / Week 10	依存症について 依存症の定義解説 依存のメカニズム 事例紹介			
第 11 週 / Week 11	マインドコントロールについて 条件づけ, 同調などの解説			
第 12 週 / Week 12	ここまでの振り返り			
第 13 週 / Week 13	テスト前復習課題			
第 14 週 / Week 14	テスト前復習課題			
第 15 週 / Week 15	期末テスト			
第 16 週 / Week 16	テスト返却・解説			
第 17 週 / Week 17	予備日			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 特になし				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		多読・速読 (1A)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年生	実務経歴 / Work Experiences 2007 年より本校及び企業において英語の 4 技能及び検定試験対策の指導。 2009 年より主に警察関係の通訳業務。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	20 単位時間 (1 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences リーディングは 4 技能の基本と考え、その効率と効果を上げるべく、現在の実力と同等または易し目の英文を、常にスピードを意識しながら読む。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description テキストのパスページで、WPM を計測しながら、各自の読みの速度と量を向上させていく。読む速度を上げていくと同時に全体の要約ができるように、流れや構造を整理しながら読む、読んだ内容を他者に説明する訓練をする。				
授業目的・到達目標 / Course Objective ①読むスピードを上げることで、与えられた時間内にできるだけ多くの情報を得られるようになる。②整理しながら読むことで、概要を確実に掴めるようになる。③少し難しいと感じるレベルの内容でも取り敢えず辞書なしで読み進められるようになる。④速読の要領を生かし、リスニングやスピーキングに発展利用することができる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	Enjoy Simple English(以下 ESE) “Japan Without a map 1” & ニュース			
第 3 週/ Week 3	Supreme Reading 2 (以下 SR2) Chapter 1			
第 4 週/ Week 4	ESE “Rakugo 1” & ニュース			
第 5 週/ Week 5	SR2 Chapter 2			
第 6 週/ Week 6	ESE “Short Stories 1” & ニュース			
第 7 週/ Week 7	SR2 Chapter 3			
第 8 週/ Week 8	ESE “Hello from Around the World 1” & ニュース			
第 9 週/ Week 9	中間試験			
第 10 週/ Week 10	ESE “Greek Myth 1” & ニュース			
第 11 週/ Week 11	SR2 Chapter 4			
第 12 週/ Week 12	ESE “Japan Without a map 2” & ニュース			
第 13 週/ Week 13	SR2 Chapter 5			
第 14 週/ Week 14	ESE “Rakugo 2” & ニュース			
第 15 週/ Week 15	SR2 Chapter 6			
第 16 週/ Week 16	ESE “Short Stories 2” & ニュース			
第 17 週/ Week 17	期末試験			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ①Enjoy Simple English ((NHK 出版) ②Supreme Reading 2 (SEIBIDO) ③ニュース (新聞、ウェブサイト)				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		会計学 (1C)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年生	実務経歴 / Work Experiences 大学において会計学の学位取得後、一般企業において、業務管理及び会計監査を担当。2016 年度より本学にて指導。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 簿記の基本である仕訳を、理解と実践の同時進行で何度も繰り返しながら、最終的に自分のものにしていく。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description テキストの予習、復習を徹底し、講義を通して理解を深める。毎回、前回授業の復習テストを実施し、知識と実践力の定着を図る。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 会計学の基礎である簿記の概念を理解し、基礎を身に着けることにより、将来の大学においての専攻や就職に役立てる。また、実際に日商簿記 3 級程度の技能を習得することを目指す。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション、「簿記の概念、仕組み」			
第 2 週/ Week 2	「貸借対照表の仕組み」、勘定科目の理解(1)			
第 3 週/ Week 3	「損益計算書の仕組み」、勘定科目の理解(2)			
第 4 週/ Week 4	「貸借対照表、損益計算書のまとめ」「資産勘定の仕訳(1)」			
第 5 週/ Week 5	「資産勘定の仕訳(2)」			
第 6 週/ Week 6	「負債勘定の仕訳(1)」			
第 7 週/ Week 7	「負債勘定の仕訳(2)」			
第 8 週/ Week 8	「資本勘定の仕訳(1)」			
第 9 週/ Week 9	「損益計算書の復習」、「収益勘定の仕訳(1)」			
第 10 週/ Week 10	「費用勘定の仕訳(1)」			
第 11 週/ Week 11	中間テスト			
第 12 週/ Week 12	決算手続き(1)売上原価算出			
第 13 週/ Week 13	決算手続き(2)減価償却の仕組み			
第 14 週/ Week 14	決算手続き(3)収益と費用の整理			
第 15 週/ Week 15	財務諸表の読み取り			
第 16 週/ Week 16	期末テスト			
第 17 週/ Week 17	期末テスト復習			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ①簿記の教科書 1 年生 (新星出版社) ②簿記の基本を学ぶ (同文館出版)				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		中国語		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年生	実務経歴 / Work Experiences 中国専門旅行社 4 年 4 ヶ月勤務 少人数向け中国語教室約 8 年開講 通訳案内士
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 中国人留学生との触れ合いや中国旅行での基本的な会話を想定した内容				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 中国語の発音と基礎を学び、簡単な会話ができるようになるためにできるだけ多く発話してもらう				
授業目的・到達目標 / Course Objective 基本的な中国語でコミュニケーションができるようになり中国に対する興味を持ってもらう				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	中国語とは? 中国の概要			
第 2 週/ Week 2	第 1 課 発音 1 母音			
第 3 週/ Week 3	第 1 課 復習			
第 4 週/ Week 4	第 2 課 発音 2 子音			
第 5 週/ Week 5	第 2 課 復習			
第 6 週/ Week 6	第 3 課 中国人留学生 A+動詞「是」+B 「我」+動詞「叫」+名前 「我」(+今年)+岁			
第 7 週/ Week 7	第 3 課 復習			
第 8 週/ Week 8	第 4 課 コンビニ A+動詞「在」+場所 A+時点+動詞「去/来」 A+動詞「买」+物			
第 9 週/ Week 9	第 4 課 復習			
第 10 週/ Week 10	第 5 課 学食 A+副詞「很」+形容詞「好吃」 物/人+「怎么样」? ~呢?			
第 11 週/ Week 11	第 5 課 復習			
第 12 週/ Week 12	第 6 課 午後の予定 日付、曜日、時刻 時間/人/場所+動詞「有」+物/人 量詞			
第 13 週/ Week 13	第 6 課 復習			
第 14 週/ Week 14	第 7 課 小説それとも漫画? 「肯定+否定」の疑問文 A 还是 B? 为什么? 因为~			
第 15 週/ Week 15	第 7 課 復習			
第 16 週/ Week 16	第 8 課 サッカーの試合 動詞「去」(+場所)+動詞 副詞「都」+動詞 副詞「也」+動詞			
第 17 週/ Week 17	第 8 課 復習			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ここから中国語 白帝社				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				



授業科目 Course Title		ビジネスストラテジー		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年生	実務経歴 / Work Experiences 英会話学校にて講師約 8 年 福岡外語専門学校 講師 1 年
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences テーマごとにディスカッションや小論文を通して、自分の考えを明確にし、伝えることを実践する。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ・テキストに載っている様々な事例を通して、職場での課題について考える。 ・日本を含め各国の SDGs に対する取り組みや、企業の取り組みについて取り上げる。				
授業目的・到達目標 / Course Objective ・生活面やビジネス面に関する異文化理解を深めることで、自己理解も深める。 ・多様な視点を持って働くことができるようになることを目指す。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション 「異文化理解」「自己理解」「身近な異文化」			
第 2 週/ Week 2	ケーススタディ p.30 「それって指示ですか」 コミュニケーション・スタイルの違い			
第 3 週/ Week 3	ケーススタディ p.40 「表情の見えない会議・敬語の難しさ」 言語バリエーション			
第 4 週/ Week 4	ケーススタディ p.60 「ビジネスメール」 メディアを使ったコミュニケーションの共通点や違い			
第 5 週/ Week 5	ケーススタディ p.80 「どうして仕事が進まないの」 理想のリーダー像・ビジネスでの異文化接触			
第 6 週/ Week 6	ケーススタディ p.50 「仕事の効率化と人間関係」 アサーショントレーニング			
第 7 週/ Week 7	ケーススタディ p.132 「わたしが信用されないのは」 ジェンダーバイアス			
第 8 週/ Week 8	ケーススタディ p.112 「飲みケーションに行きたいのに」 世界の宗教と日本の宗教			
第 9 週/ Week 9	SDGs 関連映画 「不都合な真実 2」			
第 10 週/ Week 10	SDGs17 の目標			
第 11 週/ Week 11	SDGs 世界の若者の取り組み・SDGs 各国の取り組みを調べる			
第 12 週/ Week 12	SDGs 日本企業の取り組み・課題に向けてのトピック探し			
第 13 週/ Week 13	小論文書き方の練習 引用の仕方			
第 14 週/ Week 14	小論文書き方の練習 引用の仕方			
第 15 週/ Week 15	課題内容の発表			
第 16 週/ Week 16	ケーススタディ p.70 「理屈って何を書けばいいのですか」 企画の趣旨・ブランディング			
第 17 週/ Week 17	ブランディングと広告 新しい「ジュース」の企画・企画の発表			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material “異文化”トラブル解決のヒント！日本人も外国人もケース学習で学ぼう ビジネスコミュニケーション・PP				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2022年度 福岡外語専門学校 シラバス 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	US Culture & History (1A/1B)		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	1年	実務経歴 / Work Experience Prior to coming to Japan, I taught US History at a private elementary school for gifted children as a substitute teacher occasionally.
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業週数 Number of Weeks	17週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience In this course, I hope to give a broad overview of American geography, history, events, etc. that have shaped American culture. As an American (and a high school teacher in the US), I try to share things that I think all Americans would know but many of our students are not familiar with. Cross-cultural exploration, communicative activities, and discussion are encouraged, but this is generally a large lecture-style class.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description <i>Introduction to United States Culture</i> is an intermediate EFL textbook. The text contains topics that not only provide essential information about USA culture (as described above), but are also structured to help students build general vocabulary, comprehension, and fluency in English while studying this topic-specific content.				
授業目的・到達目標 / Course Objectives 1) To improve students' general knowledge about American history, geography, people, and events, and 2) to build and reinforce language and vocabulary (mostly through reading and listening) that students are likely to need in content courses if they continue their studies in the USA, as a number of our graduates do.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	Instructor self-introduction / What is culture? / Communication in the USA			
第2週/Week 2	Unit 1: From Sea to Shining Sea (USA Geography)			
第3週/Week 3	Unit 1, cont. State names and pronunciation			
第4週/Week 4	Unit 2: The Original 13 Colonies			
第5週/Week 5	Unit 3: Bright Lights, Big Cities (rural vs. urban areas)			
第6週/Week 6	Unit 4: Hawaii and Alaska (geographic diversity)			
第7週/Week 7	Geography Review			
第8週/Week 8	Midterm Test (Units 1 - 4)			
第9週/Week 9	Unit 5: Columbus and the New World (history introduction)			
第10週/Week 10	Unit 5 cont. and Unit 6: Native Americans (The Columbian Exchange -- clash of cultures)			
第11週/Week 11	Unit 7: The USA is Born			
第12週/Week 12	Unit 8: Lincoln and the Civil War and Unit 9: The Wild West (westward expansion)			
第13週/Week 13	Unit 19: American Holidays			
第14週/Week 14	Unit 10: The American Century and Unit 11: We the People (diversity in the USA)			
第15週/Week 15	Unit 20: The USA in the 21 <sup>st</sup> century and Review			
第16週/Week 16	Final Exam			
第17週/Week 17	Return exams; Unit 20 cont.: The USA is the 21 <sup>st</sup> century; surprising differences			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Miller, Eric. <i>Introduction to United States Culture</i> . CreateSpace Publishing, 2016. ISBN-13: 978-1530715725, Additional handouts and materials created by the instructor.				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。 (Exam 40%, Attendance 30%, Class participation/coursework 30%)				

授業科目 Course Title		Speech & Presentation 1A		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期 Spring	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experiences 1 year experience working at an English Conversation and 2 years' experience teaching at FFLC.
授業形態 Course type	講義 Lecture	単位区分	必修 Mandatory	
授業週数 Number of Weeks	17 回	授業時間 Class Hours	Wednesday 15:10 - 16:40	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences The students will develop their oral presentation skills through speech and recitation. In the first semester, students will deliver various short passages in preparation for the Recitation Contest. Students will then learn how to organize, write and deliver their own speeches.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description This course will offer basic presentation skills required for public speaking through a variety of short speeches and recitations. The focus of the course is on several key components of oral presentation such as pronunciation, rhythm, stress and intonation.				
授業目的・到達目標 / Course Objective Students will be able to differentiate between natural English to Japanese. They will work to improve their pronunciation, rhythm, tone, body language and inflection. Students will also improve their comprehension through memorization of passages and oral delivery.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Course Introduction – What Makes a Good Speaker?			
第 2 週/ Week 2	Intro Speech   Working with Japanese Phonetics			
第 3 週/ Week 3	Pronunciation: Vowel Sounds / Assignment 1: Recitation #1 (Japanese Culture)			
第 4 週/ Week 4	Pronunciation: Vowel Sounds Continued / Recitation #1 Performance (Japanese Culture)			
第 5 週/ Week 5	Pronunciation: Consonants / Recitation #1 Cont / Assign Recitation #2 (Aesop's Fables 1)			
第 6 週/ Week 6	Pronunciation: Similar Sounds / Recitation Performance #2 (Aesop's Fables 1)			
第 7 週/ Week 7	Pronunciation: Similar Sounds Cont / Recitation #2 Cont / Assign Recitation #3 (Aesop's Fables 2)			
第 8 週/ Week 8	Pronunciation: Syllables / Assign Recitation #3 (Aesop's Fables 2)			
第 9 週/ Week 9	Pronunciation: Syllables Cont. / Recitation Performance #3 (Aesop's Fables 2) / Assign Midterm			
第 10 週/ Week 10	Midterm Recitations (Famous person speeches)			
第 11 週/ Week 11	Stress, Intonation & Inflection / Children's Stories / Make-up for Midterms			
第 12 週/ Week 12	Stress, Intonation & Inflection Cont / Introduction of Recitation Contest			
第 13 週/ Week 13	Recitation Contest Practice / Pronunciation vs. Enunciation			
第 14 週/ Week 14	Recitation Contest Practice / Thought Groups			
第 15 週/ Week 15	Final Exam (Preliminaries for Recitation Contest)			
第 16 週/ Week 16	Final Recitation Contest			
第 17 週/ Week 17	Feedback & Other Activities			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Harrington, David and LeBeau, Charles, <i>Speaking of Speech</i> , McMillan, 2014. ISBN: 978-0-2307-2601-7 Additional handouts prepared by instructor.				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		Listening & Reading (1A)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年生	実務経歴 / Work Experiences 2007 年より、本校及び企業において英語の 4 技能及び検定試験対策の指導。2009 年より、主に警察関係の通訳業務。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences TOEIC 対策をベースに、初心者であることを念頭に置き、ビジネス・社会生活の各場面の状況を把握することから始め、求められていることに対応する力を高めていく。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ①基本ボキャブラリーを習得する。 ②テキストと実践問題を組み合わせながら、それぞれの問題の特徴を理解し、対応していく。				
授業目的・到達目標 / Course Objective スキニングの力、パターンに対する瞬発力、基本のボキャブラリーを強化して、TOEIC において高得点を目指す。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 1&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day1			
第 3 週/ Week 3	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 2&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day1			
第 4 週/ Week 4	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 3&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day2			
第 5 週/ Week 5	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 4&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day2			
第 6 週/ Week 6	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 5&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day3			
第 7 週/ Week 7	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 6&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day3			
第 8 週/ Week 8	実践問題			
第 9 週/ Week 9	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 7, 8&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day4			
第 10 週/ Week 10	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 9, 10&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day4			
第 11 週/ Week 11	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 11, 12&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day5			
第 12 週/ Week 12	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 13, 14&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day5			
第 13 週/ Week 13	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 15, 16&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day6			
第 14 週/ Week 14	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 17, 18&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day6			
第 15 週/ Week 15	NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST Unit 19, 20&MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST Day7			
第 16 週/ Week 16	実践問題			
第 17 週/ Week 17	期末試験			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ①NEW GATE WAY TO THE TOEIC L&R TEST(金聖堂) ②MASTERY DRILLS FOR THE TOEIC L&R TEST(桐原書店)				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		International Marketing		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1年	実務経歴 / Work Experiences 法人営業 営業企画
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40単位時間 (2単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 法人営業としての職務経験を通し、マーケットを把握することの重要性を伝え、学習してもらう。 また小テストを用い、学生の理解度を確認しながら講座を進める。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 戦略立案・問題解決・マネジメントのフレームワークをわかりやすく説明。学生同士のディスカッション・ワークを交えながら授業を実施いたします。				
授業目的・到達目標 / Course Objective マーケティングの基本的な考え方、手法を学ぶことによりコミュニケーション大切さ				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	オリエンテーション・自己紹介・授業の進め方 (4/11)			
第2週/ Week 2	マーケティングは何のためにある？会社の仕組みと組織 (4/18)			
第3週/ Week 3	マーケティングの基本① (戦略・分析) 4P・4C (4/25)			
第4週/ Week 4	マーケティングの基本② (戦略・分析) ニーズ・ウォンツ (5/2)			
第5週/ Week 5	マーケティングの基本③ (戦略・分析) STPとインサイト (5/9)			
第6週/ Week 6	マーケティングの基本④ (戦略・分析) PEST分析・フレームワークまとめ (5/23)			
第7週/ Week 7	マーケティングの基本⑤ (戦略・分析) ブランディング&3C (5/30)			
第8週/ Week 8	マーケティングの基本⑤ (戦略・分析) SWOT分析 (6/6)			
第9週/ Week 9	強み・弱みを知り自分が勝てる場所を見つけよう(6/13)			
第10週/ Week 10	海外からみた日本という国について(6/20)			
第11週/ Week 11	グローバル社会って？外資系企業と日系企業の違い (6/27)			
第12週/ Week 12	海外で一般的なジョブ型雇用って？(7/4)			
第13週/ Week 13	仕事観・人生観が違う外国人と上手に働く方法(7/11)			
第14週/ Week 14	まとめ・総合復習①(8/22)			
第15週/ Week 15	前期期末試験(8/29)			
第16週/ Week 16	飲食店の効果的マーケティング戦略を考える (9/5)			
第17週/ Week 17	お客様をファンにかえる！マーケティング手法 (9/13)			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 世界一わかりやすいマーケティングの本				
成績評価 / Evaluation テスト・出席・授業態度。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		Grammar 1A		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experiences 社内通訳、翻訳業務 子ども英語教室運営、教員経験 14 年 企業のホームページ翻訳業務
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	80 単位時間 (4 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences * 文法事項の理解。* 特に英作に力を入れ、英語で表現する力の養成。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description テキストは事前に予習をし、エクササイズをやっておく。 文法のポイントを説明し、エクササイズの解答、解説。英作に力を入れる。 ニュースなど生の音源を使用し、Dictation や内容理解のエクササイズなどを行う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 総合的な英語力に必応な文法を身に付けること、またそれを運用出来ることを目指す。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	オリエンテーション			
第 2 週/ Week 2	Lesson 1 文法学習に必要な基礎知識 文の種類			
第 3 週/ Week 3	Lesson 2 文の組み立て			
第 4 週/ Week 4	Lesson 3 文型			
第 5 週/ Week 5	Lesson 5 時制			
第 6 週/ Week 6	Lesson 6 完了形(1)			
第 7 週/ Week 7	Lesson 7 完了形(2)			
第 8 週/ Week 8	Lesson 9 助動詞(1)			
第 9 週/ Week 9	Lesson 10 助動詞(2)			
第 10 週/ Week 10	Lesson 12 動詞の態			
第 11 週/ Week 11	Lesson 14 不定詞(1)			
第 12 週/ Week 12	Lesson 15 不定詞(2)			
第 13 週/ Week 13	Lesson 18 動名詞(1)			
第 14 週/ Week 14	Lesson 20 分詞(1)			
第 15 週/ Week 15	Lesson 21 分詞(2)			
第 16 週/ Week 16	Lesson 24 比較			
第 17 週/ Week 17	期末テスト、解答			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material DUAL SCOPE English Grammar in Fundamental 45・DUAL SCOPE 総合英語・CNN English Express				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title	Global Communication 1st Year (1A)		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experiences 20 years of English teaching experience Nationally and Internationally. London Institute of Language and Education. Shane English School. CCS.
授業形態	講義	単位区分	必修・選択	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences

Global Communication aims to build useful communication skills through an interactive exploration of everyday experiences. Students make cultural comparisons-- share information about their culture.

授業概要 (学修内容・方法) / Course Description

Students learn to share their own cultural thoughts and traditions and compare them with contemporary American customs and everyday situations.

授業目的・到達目標 / Course Objective

This is a course that will run for 2 semesters. Students begin by making cultural comparisons and sharing information about their culture, then move on to model conversations, half dialogues and role-plays.

週	授業計画 / Course Schedule
第 1 週/ Week 1	Introductions
第 2 週/ Week 2	<b>Introductions to Culture</b>
第 3 週/ Week 3	Assumptions
第 4 週/ Week 4	Gestures and Body Language
第 5 週/ Week 5	<b>Meeting &amp; Getting to Know People</b>
第 6 週/ Week 6	Small Talk/ Introductions
第 7 週/ Week 7	Distance/ Space Requirements
第 8 週/ Week 8	Review/ Case Study
第 9 週/ Week 9	<b>Participating in Social Events</b>
第 10 週/ Week 10	Social Events/ Celebrating Holidays
第 11 週/ Week 11	Superstitions
第 12 週/ Week 12	Review/ Case Study
第 13 週/ Week 13	<b>Dating</b>
第 14 週/ Week 14	Compliments/ Conversation
第 15 週/ Week 15	Meeting People
第 16 週/ Week 16	Review/ Case Study
第 17 週/ Week 17	<b>FINAL EXAM</b>

使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

Culturally Speaking Third Edition. Rhona B. Genzel Martha Graves Cummings. HEINLE CENGAGE Learning 2010

成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

備考 / Memo Learners develop fluency and confidence in communicating in English in everyday situations.

2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title	Foundation of Business 1 <sup>st</sup> Year		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experiences I've worked in the Hospitality and Retail Industry for more than 10 years before teaching. I've taught Business class for the past 15 years.
授業形態	講義	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	34 回	授業時間 Class Hours	月曜日 90 mins a week	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences				
Business = people of different nationalities, the trend now is to use English as the language of choice.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description				
This unit introduces students to the employability skills essential for university and career success, including communicating effectively, working effectively with others and task management				
授業目的・到達目標 / Course Objective				
This is a Business English course, that addresses the language and communication needs of future employees at all levels of an organization.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Introductions- Group Icebreaker (Crazy Inventions)			
第 2 週/ Week 2	Introduce Textbook—Unit 1: Jobs / Working with Nationalities / Personal Information			
第 3 週/ Week 3	Complete Unit 1: Case Study/ Activity—The Introductions Game			
第 4 週/ Week 4	Unit 2: Products & Services / Company Types & Activities / Say Numbers			
第 5 週/ Week 5	Complete Unit 2: Case Study—Choosing a Supplier			
第 6 週/ Week 6	Unit 3: Location / Talk About Company location & Buildings / Describing Workplaces			
第 7 週/ Week 7	Complete Unit 3: Case Study—Finding the Right Location (video)			
第 8 週/ Week 8	Unit 4: Technology / Technology & Functions / Complete Unit 4: Case Study			
第 9 週/ Week 9	Unit 5: Communication / Documents & Correspondence / Complete Unit 5: Case Study			
第 10 週/ Week 10	Unit 6: Contacts / Ordering Food & Socializing / Complete Unit 6: Case Study			
第 11 週/ Week 11	<b>Mid-Semester Exam</b>			
第 12 週/ Week 12	Unit 7: Departments / Responsibilities & Directions Using Prepositions			
第 13 週/ Week 13	Unit 8: Employment / Talk About Professional Qualities / Complete Unit 8: Case Study			
第 14 週/ Week 14	Unit 9: Competition / Comparing & Choosing / Complete Unit 9: Case Study			
第 15 週/ Week 15	Unit 10: Teamwork / Working in Teams / Complete Unit 10: Case Study (video)			
第 16 週/ Week 16	Unit 11: Travel / Future Plans / Complete Unit 11: Case Study: Organizing Business Trip			
第 17 週/ Week 17	<b>End of Semester Exam</b>			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material				
Business Result: Elementary David Grant, John Hughes & Rebecca Turner OXFORD Uni Press 2009				
成績評価 / Evaluation				
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				
Successful completion of this unit, students should be able to show proficiency in professional business documentation and technologies.				



授業科目 Course Title		English Composition (1A)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experiences I've been teaching courses assessed by essay writing in UK universities for five years. This will be my first time teaching writing in Japan.
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences A broad goal for FFLC students is to be able to write a standard five-paragraph English essay. Surprisingly, many Japanese students have not done this in high school. To that end, we begin down the road to writing a typical five-paragraph academic essay in English in this class.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description The course introduces students to the fundamentals of writing academic English. We cover the main building blocks of good academic writing: basic sentence structure, the elements of a paragraph, revising and editing, and the basics of writing a five-paragraph essay. Emphasis is placed on how to organize information in an effective structure, provide adequate support for ideas, and also on how to write in academic style.				
授業目的・到達目標 / Course Objective 1) Students will review and practice the elements of writing meaningful sentences and paragraphs. 2) Students will be able to recognize the elements and structure of an "academic" essay. 3) Students will be able to revise and edit their writing based on teacher feedback. 4) Students will be able to use transition words effectively in writing.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Introduction to the teacher and course / sample sentences / text p. 2-4 "S.P.A."			
第 2 週/ Week 2	Journal set-up (& entry no. 1) / textbook page 4-7 / casual vs. formal / page 6 – 11 / HW p. 12			
第 3 週/ Week 3	Journal no. 2 / Chap. 1 review / Chap. 2 p. 25 / HW p. 26 – 29			
第 4 週/ Week 4	Journal no. 3 / Chap. 2 cont. pages 30 ... 38 ...			
第 5 週/ Week 5	Journal no. 4 / Chap. 2 review / transitions			
第 6 週/ Week 6	Journal 5 / handouts			
第 7 週/ Week 7	Journal 6 / text page 41 – 46			
第 8 週/ Week 8	Review and Midterm Test / collect Journals			
第 9 週/ Week 9	Journal 7 / return and review midterm test / common errors			
第 10 週/ Week 10	Journal 8 / intro to Chap. 3 / Columbus/History paragraph/essay			
第 11 週/ Week 11	Journal 9 / Chap. 3 page 47, 48 / HW p. 49 – 53			
第 12 週/ Week 12	Journal 10 / Chap. 3 cont. / summer HW			
第 13 週/ Week 13	Read Journal entries aloud (no writing today) / Review Chap. 3 / Chap. 3 quiz			
第 14 週/ Week 14	Journal 11 / return Chap. 3 quiz / Chapter 4 page 60 – 62			
第 15 週/ Week 15	Journal 12 / Review and Practice Test			
第 16 週/ Week 16	FINAL EXAM			
第 17 週/ Week 17	Return Exams and Final Review of Semester 1 / Preview of Semester 2			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material <i>Ready To Write 3: From Paragraph to Essay</i> by Blanchard and Root. Pearson Education. ISBN: (NEW 4 <sup>th</sup> ed.) 9780134399331 Other handouts and materials made by the instructor.				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。(Exam 40%, Attendance 30%, Class participation/assignments 30%)				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		Career Development (1ABD)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年生	実務経歴 / Work Experiences 講師経歴 14 年 担当科目：ビジネスマナー、SPI、 コミュニケーションスキル、就職対策
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	20 単位時間 (1 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 職務経験を通して培った、キャリア形成に必要な知識をお伝えします。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 早期段階でキャリア形成について考察を重ねることにより、就職活動に必要な予備知識を身につける。 また、就職活動のスケジュール・志望業界の動向を把握し、着実に就職活動準備を進めることを目的とする。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自己分析や業界・職種研修を進めることにより、それぞれの人格・技能・適性を総合的に、 卒業後に仕事を通して社会人として活躍できるよう準備する。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Career Development・Career Design とは？就職活動のスケジュール			
第 2 週/ Week 2	就職活動サイトの登録・業界研究・職種研究			
第 3 週/ Week 3	自己分析① 自分史シート記入、これまでの自分を振り返る			
第 4 週/ Week 4	自己分析② 就活サイトの適性診断をやってみよう			
第 5 週/ Week 5	社会で求められている人材とは？			
第 6 週/ Week 6	これからの働き方とは？			
第 7 週/ Week 7	あなたの金銭感覚は？障害年収と税金			
第 8 週/ Week 8	未来予想図を作ろう			
第 9 週/ Week 9	自己 PR① 自分の長所を知ろう			
第 10 週/ Week 10	自己 PR② 自分の POP を作ろう			
第 11 週/ Week 11	業界・職種研究リサーチペーパー課題説明			
第 12 週/ Week 12	模擬面接①			
第 13 週/ Week 13	模擬面接②			
第 14 週/ Week 14	模擬面接③			
第 15 週/ Week 15	模擬面接④			
第 16 週/ Week 16	業界・職種研究リサーチペーパー発表①			
第 17 週/ Week 17	業界・職種研究リサーチペーパー発表②			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material プレステップ キャリアデザイン<第 2 版> 弘文堂				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		韓国語		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2 年生	実務経歴 / Work Experiences 韓国語教室チンダレ教員業務 3 年 福岡外語専門学校にて教員 1 年
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	選択	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 発音をしっかりと学習することにより、会話が自然にできることを目指す				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 単語テストにより、語彙力の向上 会話の練習をし、実際に使えるようにする				
授業目的・到達目標 / Course Objective 韓国語の楽しさを生徒さんたちに伝えられるようにする。 韓国語を使い、簡単なコミュニケーションが出来るレベルを目指す。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	自己紹介や授業計画の説明			
第 2 週/ Week 2	Unit1 基本の子音と母音、単語テスト			
第 3 週/ Week 3	Unit2 基本の子音と母音、単語テスト			
第 4 週/ Week 4	Unit3 基本の子音と母音、単語テスト			
第 5 週/ Week 5	Unit4 激音と濃音、単語テスト			
第 6 週/ Week 6	Unit5 パチム、単語テスト			
第 7 週/ Week 7	Unit5 パチム、単語テスト			
第 8 週/ Week 8	Unit1~5 の繰り返し			
第 9 週/ Week 9	Unit6 挨拶の表現			
第 10 週/ Week 10	Unit7 自己紹介の表現			
第 11 週/ Week 11	Unit8 簡単な会話の表現			
第 12 週/ Week 12	Unit6~8 の繰り返し			
第 13 週/ Week 13	Unit9 数字の発音			
第 14 週/ Week 14	Unit10 数字を活用形			
第 15 週/ Week 15	Unit9~10 の繰り返し			
第 16 週/ Week 16	期末テスト告知、韓国映画視聴			
第 17 週/ Week 17	期末テスト			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 「yonsei korean reading 1 延世大 韓国語学度堂」				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title	総合英語（英検準 2 級） Comprehensive English		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2 年生	実務経歴 / Work Experiences 英会話スクールにて指導経験 3 年 →その後外国人・日本人教師のマネジメント 11 年→当校にて 2 年
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経歴に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 学習意欲を向上させられるよう理解度に注目しつつ、それぞれの学生が習熟度を実感できるよう授業を進める。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description テキストやドリルを使用し 4 技能の導入と練習を繰り返し、且つ攻略方法を学び問題形式や傾向に慣れる。また語彙力アップや各技能定着のため、毎回ミニテストを実施し、自学方法を身につけさせ自宅学習を促進する。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 読む・書く・聞く・話すの 4 技能の力を身につけ、実用英語能力試験準 2 級の合格を目指す。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週 / Week 1	授業計画説明 / 目標設定 / 自己学習内容確認 / 1 年時復習ミニテスト			
第 2 週 / Week 2	わからないをわかるにかえる英検準 2 級 文法 9~10 / 単語テスト			
第 3 週 / Week 3	わからないをわかるにかえる英検準 2 級 文法 11 / 英検準 2 級合格ノート会話表現①			
第 4 週 / Week 4	わからないをわかるにかえる英検準 2 級 文法 12 / リスニング 44 / 単語テスト			
第 5 週 / Week 5	わからないをわかるにかえる英検準 2 級 文法 13 / 長文 32 / 単語テスト			
第 6 週 / Week 6	わからないをわかるにかえる英検準 2 級 リスニング 45 / 英検準 2 級合格ノート会話表現②			
第 7 週 / Week 7	わからないをわかるにかえる英検準 2 級 文法 14~15 / 英検準 2 級合格ノート会話表現③			
第 8 週 / Week 8	わからないをわかるにかえる英検準 2 級 英作文 37 / 英検準 2 級合格ノート会話表現④			
第 9 週 / Week 9	模擬試験（英検準 2 級合格ノート）			
第 10 週 / Week 10	わからないをわかるにかえる英検準 2 級 文法 16~17 / リスニング 46 / 予想問題ドリル			
第 11 週 / Week 11	まとめテスト（文法・長文・リスニング）予想問題ドリル			
第 12 週 / Week 12	英検準 2 級合格ノート リスニング第 1 部 / よく出る動詞①② / 単語テスト			
第 13 週 / Week 13	英検準 2 級合格ノート リスニング第 2 部 / よく出る名詞①② / 単語テスト			
第 14 週 / Week 14	英検準 2 級合格ノート 長文① / よく出る形容詞・副詞 / よくでるイディオム①② / 単語テスト			
第 15 週 / Week 15	前期復習（文法・単語・会話・リスニング・ライティング）			
第 16 週 / Week 16	期末テスト			
第 17 週 / Week 17	期末テスト FB			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material わからないをわかるにかえる英検準 2 級（文理）（1 年時の続き） 英検準 2 級予想問題ドリル（旺文社） 書いて覚える英検準 2 級合格ノート（高橋書店）				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	総合英語（2年 英検準1級）		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2年生	実務経歴 / Work Experiences 2007年より、本校及び企業において英語の4技能及び検定試験対策の指導。2009年より、主に警察関係の通訳業務。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40単位時間 (2単位)	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences

検定試験(英検)の上級合格を目指す為には、総合的・本質的な理解力と実践力(スピード)が求められる為、4技能全般において、「内容について考える」ことを重視する。

### 授業概要(学修内容・方法) / Course Description

ボキャブラリー：事前に配布する英単語リスト暗記する。授業中にゲームやペーパーテストを通じて、クイックレスポンスする。

リーディング：一定時間内に、各設問と本文の各段落及び文章全体の構造・意味を把握し、的確に解答する。

リスニング：初聴で問題解答に挑戦し、後で、各自ディクテーションをして音声と文字の関係を確認する。

ライティング：100語程度、3段落構成の簡易エッセイの形式で設問に対する自分の意見を書く。

スピーキング：社会問題に対して、迅速且つ完結に意見が述べられるように、思考力を鍛える。

### 授業目的・到達目標 / Course Objective

英語4技能の総合能力を向上させると共に、英検準1級に合格する為の効率的な解答手法を身に付ける。

週	授業計画 / Course Schedule
第1週/Week 1	模擬試験
第2週/Week 2	ボキャブラリー、リーディング
第3週/Week 3	リーディング、リスニング
第4週/Week 4	リスニング、ボキャブラリー
第5週/Week 5	スピーキング
第6週/Week 6	リーディング、ボキャブラリー
第7週/Week 7	リーディング、リスニング
第8週/Week 8	リスニング、ボキャブラリー
第9週/Week 9	ライティング、リーディング
第10週/Week 10	リスニング、ボキャブラリー
第11週/Week 11	ボキャブラリー、ライティング
第12週/Week 12	リスニング、リーディング
第13週/Week 13	リーディング
第14週/Week 14	模擬試験
第15週/Week 15	ボキャブラリー、ライティング
第16週/Week 16	スピーキング
第17週/Week 17	期末試験

### 使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

①英検準1級過去問題集(旺文社) ②英検でる順準一級(旺文社) ③キクタン英検準一級(アルク)

### 成績評価 / Evaluation

成績は、定期試験40%・出席状況30%・授業参加姿勢30%により判断し、総合点によりA・B・C・D・F評価を決定する。

### 備考 / Memo

授業科目 Course Title		総合英語（英検 2 級）		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences 福岡外語専門学校にて教員経験 9 年
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業回数 Number of Classes	17 週	単位時間 Credit ours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 自宅での学習を促し、授業では初見でのリスニング、特にエッセイの準備、フィードバックに力をいれる				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 過去問題に数多く取り組み、合格に必要な語彙、リスニング、リーディングの力をつける 合格のために重要なエッセイ作成に重点的に取り組む				
授業目的・到達目標 / Course Objective 英検 2 級の合格 それに見合う総合的な英語力を養う				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	実力テスト（過去問題使用）			
第 2 週/ Week 2	授業の概要（英検 2 級合格に向けての勉強の仕方、達成目標） 実力テストによる弱点分析 エッセイの書き方			
第 3 週/ Week 3	試験前の注意点 リスニング エッセイトピックディスカッション			
第 4 週/ Week 4	自己採点 やり直し 2 次試験対策			
第 5 週/ Week 5	2 次試験対策 練習			
第 6 週/ Week 6	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 7 週/ Week 7	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 8 週/ Week 8	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 9 週/ Week 9	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 10 週/ Week 10	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 11 週/ Week 11	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 12 週/ Week 12	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 13 週/ Week 13	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 14 週/ Week 14	単語テスト リスニング/リーディング エッセイ			
第 15 週/ Week 15	期末試験			
第 16 週/ Week 16	期末試験返却 解説やりなおし			
第 17 週/ Week 17	再テスト リスニング エッセイ			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 出る順パス単 出る順合格問題集 過去 6 回全問題集				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2022年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目/Course title	海外渡航 実践英会話		担当教員/Instructor	
開講時期/Term	前期	配当年次/grade	2年	実務経歴/Work Experience : : 大学にて 海外派遣学生・留学生指導、外国人教員 対応：9年、外資企業勤務：4年、国際 理解教育（県財団）実施：5年 他
授業形態/Class type	講義	単位区分/credit	必修	
授業週数/Number of weeks	17週	単位時間	40単位時間	
		単位数	2単位	
実務経験に基づいた授業内容・方法/Course Content & Method based on Instructor's Work Experience				
海外での生活、渡航、その準備等にかかる表現とその応用練習を行う。グループを活用して実践を想定した創作練習、日常の報告を実施し、他授業（文法等）を実践会話に活かせるようにする。発音、イントネーション等に注目。海外事情、危機管理情報 他				
授業概要（学修内容・方法）/Course Contents				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回授業のレビューテストで表現を定着</li> <li>・ 基本会話パターン学習、実践を想定したやり取りを創作</li> <li>・ 補助教材を活用して発音、イントネーションの練習</li> <li>・ グループワークを活用</li> </ul>				
授業目的・到達目標/Course goals				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渡航希望メンバーなので、インタビュー等渡航前の条件をクリアし、渡航し、自己管理（危機管理）しながら日常生活を送り、目標にチャレンジできるような基本の自己表現をマスターする。</li> </ul>				
週	授業計画/Course Schedule			
第1週/Week 1	オリエンテーション、アイスブレイク			
第2週/Week 2	レビューテスト、lesson2、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第3週/Week 3	レビューテスト、lesson3、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第4週/Week 4	レビューテスト、lesson4、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第5週/Week 5	レビューテスト、lesson5、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第6週/Week 6	レビューテスト、lesson6、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第7週/Week 7	レビューテスト、lesson7、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第8週/Week 8	レビューテスト、lesson8、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第9週/Week 9	レビューテスト、lesson9、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第10週/Week 10	中間テスト、答え合わせ			
第11週/Week 11	レビューテスト、lesson10、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第12週/Week 12	レビューテスト、lesson11、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第13週/Week 13	レビューテスト、lesson12、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第14週/Week 14	レビューテスト、lesson13、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第15週/Week 15	レビューテスト、lesson14、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第16週/Week 16	レビューテスト、lesson15、グループプレゼン、海外情報、渡航情報、危機管理情報			
第17週/Week 17	期末テスト、答え合わせ			
テキスト及び補助教材/Textbook and Material				
マンガで覚える しろねこトーフの英会話 新星出版社、 補助ハンドアウト				
成績評価/Evaluation				
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価				
備考/Memo				

## 2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		心理学		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2 年	実務経歴 / Work Experiences 2013 年からアスリートの心理サポートに従事。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 心理学の基礎的、古典的な概念の理解から、応用（主にスポーツ心理学）までを取り扱う。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 受講者自身の視点で問題を受け止め、それをどう感じるのかに注目させていく。グループワークなどを中心に、自主的に問題を設定し、心理学の知識をつかって問題を解決していく力を養う。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 心理学の各概念の説明ができる。実際の場面に心理学の知識を応用し問題を解決できる。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週 / Week 1	オリエンテーション 成績評価の方法、授業進行の説明			
第 2 週 / Week 2	目標設定について 年度内の目標を決める			
第 3 週 / Week 3	意識と無意識について 定義の解説 カウンセリングの事例等の紹介			
第 4 週 / Week 4	依存症について 依存症の定義解説 依存のメカニズム 事例紹介			
第 5 週 / Week 5	注意集中について セルフモニタリング実習			
第 6 週 / Week 6	行動経済学について 分野の解説と応用場面の紹介			
第 7 週 / Week 7	有名な心理学実験（吊り橋実験、刑務所実験）の紹介と解説			
第 8 週 / Week 8	コーチングについて 指導をする側の留意点などの紹介			
第 9 週 / Week 9	集団について チームビルディング、チームワークの解説			
第 10 週 / Week 10	自己分析の心理学 自分に関する気づきを促すワーク等の実施			
第 11 週 / Week 11	コミュニケーションの心理学 信頼関係を築くためのしぐさなどの紹介			
第 12 週 / Week 12	リラクゼーションについて 身体や心をリラックスさせる方法の紹介			
第 13 週 / Week 13	テスト前復習課題			
第 14 週 / Week 14	テスト前復習課題			
第 15 週 / Week 15	期末テスト			
第 16 週 / Week 16	テスト返却 解説			
第 17 週 / Week 17	予備日			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 特になし				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				



授業科目 Course Title	就職対策		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2年	実務経歴 / Work Experiences
授業形態 Course type	講義	単位区分	選択	英会話学校 1年 予備校指導歴 14年 企業にて英文書類作成・外国人職員採用に係る人事業務経験あり
授業週数 Number of Weeks	17	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	20 単位時間 (1 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 人事採用担当者としての業務で培った経験を活かし、就職活動において必要な書類作成上の注意点や面接試験の際に人事採用担当者が注目するポイント等を学生に分かりやすく指導していくことで、内定率の向上を目指す。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 自己分析や志望動機書の作成に関しては基本的には自主的に進めてもらうが、必要に応じて課題とする。作成済みのエントリーシートや履歴書の添削や確認、面接対策、就職活動計画の確認等を進めていく。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 就職内定だけでなく、就職活動に必要とされる自己分析を進めていくことで、自分とは何かについて考え、自分の将来像についても出来るだけ確立してもらうことを目標とする。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	オリエンテーション			
第2週/ Week 2	業界研究、エントリー、就職計画			
第3週/ Week 3	業界研究、エントリー、就職計画			
第4週/ Week 4	自己分析～自己PR			
第5週/ Week 5	自己分析～学生時代に力を入れたこと			
第6週/ Week 6	自己分析～志望動機			
第7週/ Week 7	履歴書作成			
第8週/ Week 8	面接対策 対面面接での注意点とマナー			
第9週/ Week 9	面接対策 Web 面接での注意点とマナー			
第10週/ Week 10	個別対策 (書類作成・面接等)			
第11週/ Week 11	個別対策 (書類作成・面接等)			
第12週/ Week 12	個別対策 (書類作成・面接等)			
第13週/ Week 13	個別対策 (書類作成・面接等)			
第14週/ Week 14	個別対策 (書類作成・面接等)			
第15週/ Week 15	個別対策 (書類作成・面接等)			
第16週/ Week 16	レポート			
第17週/ Week 17	レポート			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 受かる！伝わる！面接試験〈出るところ〉対策 就職四季報 総合版 2023年版(就職シリーズ) 2024年度版 イッキに内定！面接&エントリーシート[一問一答] 単行本 2024年度版 内定者はこう書いた！エントリーシート・履歴書・志望動機・自己PR 完全版				
成績評価 / Evaluation 成績は、レポート評価 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		国内大学編入準備 (2年)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2年生	実務経歴 / Work Experiences 2007年より、本校及び企業において英語の4技能及び検定試験対策の指導。2009年より、主に警察関係の通訳業務。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	選択	
授業週数 Number of Weeks	17週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	20 単位時間 (1 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 各自の進路志望の実現に向けて、本人の自立をサポートしながら共に考え、課題を一つずつ解決していく。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description ①各自の志望大学の編入試験に直結した、英語、小論文、面接試験の練習 ②願書提出に伴う書類の準備				
授業目的・到達目標 / Course Objective 専門学校卒業後の進路の明確化と志望大学への編入試験合格				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	志望大学・学部の決定			
第2週/Week 2	願書提出書類 準備 (1)			
第3週/Week 3	英語 過去問・類似問題 解答 (1)			
第4週/Week 4	英語 過去問・類似問題 解答 (2)			
第5週/Week 5	願書提出書類 準備 (2)			
第6週/Week 6	面接 練習 (1)			
第7週/Week 7	英語 過去問・類似問題 解答 (3)			
第8週/Week 8	英語 過去問・類似問題 解答 (4)			
第9週/Week 9	小論文 過去問・類似問題 解答 (1)			
第10週/Week 10	願書提出書類 準備 (3)			
第11週/Week 11	面接 練習 (2)			
第12週/Week 12	英語 過去問・類似問題 解答 (5)			
第13週/Week 13	英語 過去問・類似問題 解答 (6)			
第14週/Week 14	小論文 過去問・類似問題 解答 (2)			
第15週/Week 15	願書提出書類 準備 (4)			
第16週/Week 16	面接 練習 (3)			
第17週/Week 17	期末試験			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ①各大学 入試問題及び類似問題				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		中国語		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2 年	実務経歴 / Work Experiences 福岡外語専門学校にて非常勤講師経験 1 年 公民館中国語サークル講師経験 5 年
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修 選択	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経歴に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 生徒の状況（趣味や好み等）に合わせた発問を準備し、自分を伝える中国語を通じて興味を引き出します。 カードやトランプ、クイズ形式を用いたグループ活動を通じて定着を図ります。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description 4つの声調を聞き分け正しく発音できるよう、聞く・声調の確認・発音 の練習を多く取り入れます。 文章の“穴埋め”、単語の“並べ替え”の練習を通じて文章の構造を覚えます。				
授業目的・到達目標 / Course Objective 正しい声調をマスターすること、単語力を増やすことを第一の目標とし、「主語＋述語＋目的語」の簡単な文章が 作れる、簡単な自己紹介ができるレベルを目指します。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	自己紹介 習熟度確認			
第 2 週/ Week 2	第 1 課 2 課復習 「是」の構文			
第 3 週/ Week 3	第 3 課復習 形容詞の構文			
第 4 週/ Week 4	第 4 課復習 数字の言い方			
第 5 週/ Week 5	数字を使ったグループ活動			
第 6 週/ Week 6	会話練習：買い物			
第 7 週/ Week 7	第 5 課 場所に関する言い方「在」			
第 8 週/ Week 8	「想」を使った文章 単語復習			
第 9 週/ Week 9	第 6 課「要」「有」の使い方			
第 10 週/ Week 10	会話練習：レストランにて			
第 11 週/ Week 11	第 7 課 完了の「了」			
第 12 週/ Week 12	「不」と「没有」の違い			
第 13 週/ Week 13	第 8 課経験の「过」			
第 14 週/ Week 14	時間の表し方			
第 15 週/ Week 15	動詞の復習			
第 16 週/ Week 16	第 9 課 前置詞「从～到」時間の長さの言い方			
第 17 週/ Week 17	会話練習：タクシーに乗る、道案内			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 1 年生のコミュニケーション				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		フランス語		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2 年	実務経歴 / Work Experiences フランス東洋言語文化大学、AAA パリ言語学院、西南学院大学（福岡）フランス文学大学院でフランス語の授業をそれぞれ 1 年担当。現在、アンスティチュ・フランセ九州（福岡市）フランス語の講師・教務担当
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 各授業は、一つのテーマを通じてフランス語の文法、語彙、表現、そしてフランス文化を習います。それで、アクティビティ、ロールプレイ、ゲームを使って授業の内容を使えるように練習します。				
授業概要（学修内容・方法） / Course Description ・基本的な語彙力の学習 ・教科書を使い基本的な文法事項の学習 ・教科書や補助教材を使った発音の練習・会話の練習				
授業目的・到達目標 / Course Objective 自己の紹介、趣味、週間などについて相手との基本的なコミュニケーションができること。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	挨拶をする・名前を言う・発音の基本とアルファベット L1			
第 2 週/ Week 2	名前の綴り・数字 男性・女性名詞 数字(0-10) L1			
第 3 週/ Week 3	自己紹介：国籍、 être 動詞 L2			
第 4 週/ Week 4	出身地・職業、住んでいる国と都市を言う L2			
第 5 週/ Week 5	話せる言語、専攻、好きなこと 定冠詞国籍と住んでいる国を言う・否定する、服母音の読み方 L3			
第 6 週/ Week 6	話せる言語、専攻、好きなこと リエゾン L3 数字(11-20)			
第 7 週/ Week 7	復習+ 小テスト			
第 8 週/ Week 8	自己紹介・他紹介 住んでいる国と都市 L4			
第 9 週/ Week 9	他紹介 住んでいる国と都市 数字 (11-20) 服母音 L4 数字(11-20)			
第 10 週/ Week 10	持ち物 (avoir) 授業について話す 不定冠詞 L5			
第 11 週/ Week 11	持ち物、数字 (20-60) 年齢 L5			
第 12 週/ Week 12	日常について faire aller 場所 L6			
第 13 週/ Week 13	活動 曜日・時間割 L6			
第 14 週/ Week 14	BILAN + 小テスト			
第 15 週/ Week 15	人や物を描写する 色 所有形容詞 L7			
第 16 週/ Week 16	描写する 所有形容詞 数字 (60-99) L7			
第 17 週/ Week 17	試験			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Maestro 1				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title	US Culture & History (2 <sup>nd</sup> Year)		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experience Prior to coming to Japan, I taught US History at a private elementary school for gifted children as a substitute teacher occasionally.
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	20 単位時間 (1 単位)	
実務経歴に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience The textbook for this course contains topics and vocabulary that review and expand the essential information from US Culture 1 (last year). Class activities are designed to encourage students to talk about what they learned last year, ask questions, and share opinions. Students will also practice writing and presenting about various aspects of American and/or other countries' culture in this course.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 実務経歴に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience In this course, we build on topics explored last year in US Culture 1. Having gained some general knowledge about American history, geography, government, etc., students are now encouraged to talk about these topics to build fluency and confidence with subjects they are likely to encounter if studying abroad in the USA.				
授業目的・到達目標 / Course Objectives 1) To talk and write about opinions related to aspects of American and comparative cultures, and 2) to build and reinforce language and vocabulary that students are likely to need in content courses if they continue their studies at a foreign university.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Intro to the course; Review Quiz (from US Culture 1)			
第 2 週/ Week 2	Unit 1: The Fifty States			
第 3 週/ Week 3	Unit 2: A New World			
第 4 週/ Week 4	Unit 1 and 2: Writing Assignment/ Student reports			
第 5 週/ Week 5	Unit 3: Native Americans			
第 6 週/ Week 6	Unit 4: Birth of a Nation			
第 7 週/ Week 7	Unit 3 and 4: Writing Assignment and Review / Student Reports			
第 8 週/ Week 8	Review and Midterm Test: Units 1 – 4			
第 9 週/ Week 9	Unit 6: Growth of the Nation / Return Tests			
第 10 週/ Week 10	Unit 7: A Nation of Immigrants			
第 11 週/ Week 11	Unit 7: A Nation of Immigrants Debate			
第 12 週/ Week 12	Unit 8: The American Century			
第 13 週/ Week 13	Unit 6, 7, 8: Writing Assignment / Student Reports			
第 14 週/ Week 14	Unit 10: Patriotism and National Symbols			
第 15 週/ Week 15	Review for Final Exam / Practice Test			
第 16 週/ Week 16	Semester 1 FINAL EXAM (Units 1 – 10) *			
第 17 週/ Week 17	Return Exams and Final Review of Semester 1			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Materials Miller, Eric. <i>Talk About the USA, 2<sup>nd</sup> edition</i> . CreateSpace Publishing, 2016. ISBN-13: 978-1533114389 Other class materials and handouts created by the instructor.				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。(Exam 40%, Attendance 30%, Class participation/coursework 30%)				

2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス		2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus	
授業科目 Course Title	United States Culture 1 (1A and 1B)	担当教員 Instructor	氏名/Name James Thompson 実務経験 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ) ・ 無 )
開講時期 Term	<input checked="" type="radio"/> 前期 <input type="radio"/> 後期	配当年次 grade	実務経歴 / Work Experience Prior to coming to Japan, I taught US History at a private elementary school for gifted children as a substitute teacher occasionally.
授業形態 Course type	講義	単位区分	
授業週数 Number of Weeks	17 週	授業時間 Class Hours	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience In this course, I hope to give a broad overview of American geography, history, events, etc. that have shaped American culture. As an American (and a high school teacher in the US), I try to share things that I think all Americans would know but many of our students are not familiar with. Cross-cultural exploration, communicative activities, and discussion are encouraged, but this is generally a large lecture-style class.			
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description <i>Introduction to United States Culture</i> is an intermediate EFL textbook. The text contains topics that not only provide essential information about USA culture (as described above), but are also structured to help students build general vocabulary, comprehension, and fluency in English while studying this topic-specific content.			
授業目的・到達目標 / Course Objectives 1) To improve students' general knowledge about American history, geography, people, and events, and 2) to build and reinforce language and vocabulary (mostly through reading and listening) that students are likely to need in content courses if they continue their studies in the USA, as a number of our graduates do.			
週	授業計画 / Course Schedule		
第 1 週 / Week 1	Instructor self-introduction / What is culture? / Communication in the USA		
第 2 週 / Week 2	Unit 1: From Sea to Shining Sea (USA Geography)		
第 3 週 / Week 3	Unit 1, cont. State names and pronunciation		
第 4 週 / Week 4	Unit 2: The Original 13 Colonies		
第 5 週 / Week 5	Unit 3: Bright Lights, Big Cities (rural vs. urban areas)		
第 6 週 / Week 6	Unit 4: Hawaii and Alaska (geographic diversity)		
第 7 週 / Week 7	Geography Review		
第 8 週 / Week 8	Midterm Test (Units 1 – 4)		
第 9 週 / Week 9	Unit 5: Columbus and the New World (history introduction)		
第 10 週 / Week 10	Unit 5 cont. and Unit 6: Native Americans (The Columbian Exchange -- clash of cultures)		
第 11 週 / Week 11	Unit 7: The USA is Born		
第 12 週 / Week 12	Unit 8: Lincoln and the Civil War and Unit 9: The Wild West (westward expansion)		
第 13 週 / Week 13	Unit 19: American Holidays		
第 14 週 / Week 14	Unit 10: The American Century and Unit 11: We the People (diversity in the USA)		
第 15 週 / Week 15	Unit 20: The USA in the 21 <sup>st</sup> century and Review		
第 16 週 / Week 16	Final Exam		
第 17 週 / Week 17	Return exams; Unit 20 cont.: The USA is the 21 <sup>st</sup> century; surprising differences		
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Miller, Eric. <i>Introduction to United States Culture</i> . CreateSpace Publishing, 2016. ISBN-13: 978-1530715725 Additional handouts and materials created by the instructor.			
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。(Exam 40%, Attendance 30%, Class participation/coursework 30%)			

授業科目 Course Title		Speech & Presentation 2 <sup>nd</sup> Year		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴 / Work Experiences Presenting is in my blood. I've given numerous presentations on everything English and Australia related. I've taught this class for more than 15 years.
授業形態	講義	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	月曜日 8:50 ~ 10:20	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences Being able to give a speech or presentation is an important part of life. Everyone must know how to make a speech; this class will focus on the process that go with making an effective speech.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description This class aims to develop students' ability to be confident, articulate, focused and engaging speakers.				
授業目的・到達目標 / Course Objective This is a course that will run for 2 semesters. The text will provide insight into the various aspects, such as eye contact, gestures, voice inflection, posture, and visual aids.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	Introductions			
第2週/ Week 2	Getting Started—Stating Your Purpose / Posture			
第3週/ Week 3	Title Slides / Effective Openings Textbook—Present Unit 1 – Self Introductions			
第4週/ Week 4	Eye Contact / Gestures/ Details / Signposting			
第5週/ Week 5	<b>Introduce Presentation 1—The Bucket List (Opinion)</b>			
第6週/ Week 6	Introducing Visuals / Commenting on Visuals/ Stage Position—Textbook – Present – Unit 2			
第7週/ Week 7	Cause, Effect & Purpose/ Change & Development/ Conclusion Slide			
第8週/ Week 8	Textbook – present Unit 3 – Places			
第9週/ Week 9	Projection/ Intonation/ Phrasing/ Chunking			
第10週/ Week 10	<b>Presentation Day 1—“The Bucket List” (Opinion)</b>			
第11週/ Week 11	Signpost Expressions/ Pacing			
第12週/ Week 12	Signal Words/ Sound Scripting/ Facts & opinions—Textbook—Present – Unit 4			
第13週/ Week 13	Stress/ Articulation			
第14週/ Week 14	<b>Introduce Recitations</b>			
第15週/ Week 15	<b>Introduce Presentation 2—Trends/ Fads (Informative)</b>			
第16週/ Week 16	Review/ Recitation Preliminary Contest			
第17週/ Week 17	<b>Recitation Contest Day</b>			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Ready to Present. Herman Bartelen / Malcolm Kostiuik. NATIONAL GEOGRAPHIC Learning 2019				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo -- All 2nd year students are required to make 1-3 different presentations per semester and to participate in the 2 competitions—Recitation & Speech Contest				

授業科目 Course Title	Practical Career Development ～仕事を通じた私のキャリアデザイン～		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2年	実務経歴 / Work Experiences
授業形態 Course type	講義/実践	単位区分 Category	選択	新日本証券 営業 福岡大学経済学部教授
授業週数 Number of Weeks	17週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	担当科目：産業組織論、応用ミクロ経済学、ベンチャー起業論

### 実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences

この講義は、通常の講義と異なり、学校の中だけで完結するものではなく、個々の学生が、協力企業の業務体験（アルバイトを含む）を行う。それぞれの人生の目標に照らし合わせながら、教室に持ち寄り、グループで自分または仲間の職業適性を相互評価し、専門家の意見も参考にし、幸せな人生設計を行うこととする。

### 授業概要（学修内容・方法） / Course Description

この授業では、「私の」キャリアデザインであることが、特に強調される。というものの「私」は、これからの人生において、就職の決定、パートナーの決定など、様々な決定の主体である。そのような意味で、「私」は人生の経営者の役割を担っている。また、今日の学生の就職活動は、自分自身の適性よりも、企業の要求に合わせることに重きがおかれ、その結果、2、3年以内の離職率がとても大きな社会問題となっており、さらに、働き方改革もあり、企業は自己都合ばかりを優先できない状況にあり、求職者、雇用者ともに納得する就職の場の提供が望まれている。このような課題を実現するためには、就職する前に、仕事を通じて、さまざまな仕事の実態を体験し、そのような仕事に対して、学生主体で活動する。学生はグループに分かれ、1言ってみる 2行ってみる 3やってみるの「いいや」を職場で実践する。そのような実践を通して、「私」がどのような仕事に適性があるのかを授業の場に持ち寄り、周りの人の意見や専門家の意見を聞きながら自分のやりたいことの確認作業を行う。このような傾向は、今日ますます重要になっている。これまでの時代は、急激な人口増加を元に「大量生産・大量消費」の時代で、世の中の流れにうまく乗れば、成功であるかのような錯覚が蔓延し、「私」の決定はそれほど重要視されてこなかった。しかし、これからの人口減少時代は、国内マーケットだけでは生き残れない、大企業に就職すれば、一生安心といった時代ではなくなった。海外マーケットも見ながら、マスマーケットではなく、一人一人の消費者に寄り添った、事業展開が望まれ、そのような時代対応できる人が望まれている。

具体的な、授業内容は、初回の講義で私から、講義の設計思想と、学生主体の運営のグループ作成を行う。いいやの行動原則、学生の役割分担を学生の希望をもとに行う。二回目の授業は、今回最も重要な授業になっている。植松電機の植松努さんによる講義で、多くの学生が自分自身の可能性に蓋を解放する。誰もが「どうせ無理」と思っている宇宙ロケットのモデルを実際に作って、飛ばすことにより、学生すべての人の可能性がなんの制約もないことを実感してもらおう。三回目と四回目で、今後の基本的な動き方の説明となる。わくわくエンジンの見つけ方がその内容となるが、興味のある仕事について、徹底的に深掘りを行う。仕事は、営業するだけで成り立っているわけではなく、その周辺にいろいろな人の支えで成り立っている。そのことをグループで出し合い、自分自身のわくわくエンジンを探すワークを行うが、五回目の講義からは、その実践となる。具体的に、九州電設という熊本の企業の協力を得て、土日にアルバイトを兼ねて、この会社の「暮らしのドクター」事業の営業を福岡大学の学生と協力しながら行う。「地域の人困りごとを解決することを通して、社会に貢献したい」と九州電設の穴井会長の思いで実現した。地域の人困りごとが今具体的に困っていることは、特に高齢者の人はスマホ社会についていけないという現実がある。現在、孫の生育記録をスマホで遠距離間でも確認できることや、親子の安否確認など多くの便利な機能が無料で提供されているが、このような機能を知らない、接続の手続きが面倒だということを利用してないが、潜在的な需要は大きい。これとは別に携帯会社の事業者は、深刻な従業員不足で悩んでいる。初心者でも、世間相場より高い、時給でアルバイトから採用してくれることもあり、九州電設プロジェクトとセットで活動すると相互補完的な効果が得られます。つまり、九州電設プロジェクトで直面した、専門的な課題に対しても、迅速に通信業者のサポートが得られる。このように、業務の中で直面した課題や自分の適正に関する悩みなどを木曜日の講義の時間に共有し、学生同士で解決していく関係を構築する。

後期に関しても同様に、植松電機で行われている事業について、学生が土日に ZOOM 調査を行い、その途中で疑問に思ったことや悩んだことを木曜日の講義で発表し合い、最終的に植松社長や植松電機の社員の方々に疑問を解消してもらうような取り組みを行う。

### 授業目的・到達目標 / Course Objective

自立し、幸せな人生を送るための仕事と生き方の基本を学ぶ。心にある「どうせ無理」をなくし、自信を育み、自主的にかつ協調性を持ちながら行動する能力を身につける。（態度・志向性） 社会や企業、身の回りの状況を把握し、その問題の原因を究明し、解決策を立案する能力を身につける。（技能） 専門的な知識の習得のために、専門家を探し、面会の許可を取るなどして、実地調査を行うことができる。（技能） 実地調査を通して、研究成果を論理的な文章にまとめ、それを他者にも分かりやすく説明できる能力及び討論できる能力を身につける。（技能）



## 英語科シラバス

週	授業計画 / Course Schedule
第1週/Week 1	オリエンテーション（講義の目的、到達目標の説明）
第2週/Week 2	植松電機様（植松社長講演、ロケット教室）
第3週/Week 3	植松電機様ワークショップ（ロケット教室の振り返り）
第4週/Week 4	わくわくエンジン①
第5週/Week 5	わくわくエンジン②
第6週/Week 6	ケーススタディ
第7週/Week 7	ケーススタディ
第8週/Week 8	ケーススタディ
第9週/Week 9	ケーススタディ
第10週/Week 10	ケーススタディ
第11週/Week 11	ケーススタディ
第12週/Week 12	ケーススタディ
第13週/Week 13	ケーススタディ
第14週/Week 14	ケーススタディ
第15週/Week 15	ケーススタディ
第16週/Week 16	ケーススタディ
第17週/Week 17	ケーススタディ
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material	
いいや <a href="https://www.youtube.com/watch?v=A9_g0xe9BvE">https://www.youtube.com/watch?v=A9_g0xe9BvE</a> ベンチャー起業論で人材育成 -人生の経営者になる- 阿比留正弘 <a href="https://3f7f06f5-7cbc-4be3-a2d2-ddfbbc0f367b.filesusr.com/ugd/51db25_e96c3022d9a44311b04bfda50e7fb685.pdf">https://3f7f06f5-7cbc-4be3-a2d2-ddfbbc0f367b.filesusr.com/ugd/51db25_e96c3022d9a44311b04bfda50e7fb685.pdf</a> 学生と留学生のネットワークによる企業の海外進出（Breakthrough プロジェクトの挑戦） 阿比留正弘 <a href="https://3f7f06f5-7cbc-4be3-a2d2-ddfbbc0f367b.filesusr.com/ugd/51db25_2189cf8cae9e484d82b059d6d90b20d4.pdf">https://3f7f06f5-7cbc-4be3-a2d2-ddfbbc0f367b.filesusr.com/ugd/51db25_2189cf8cae9e484d82b059d6d90b20d4.pdf</a>	
成績評価 / Evaluation	
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。	
備考 / Memo	

授業科目 Course Title	PC		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2年	実務経歴 / Work Experiences 高等学校において教科情報授業担当 (5年) Office ソフトの授業 (10年)
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 関数や数式を使用して便利で見やすい表やグラフの作成ができる				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 1. Excel を使用して、必要な書類等を問題なく作成できるようになる。 2. Excel の検定取得を目指す。				
授業目的・到達目標 / Course Objective Excel で、表作成、データ入力、計算式や関数を使用した計算、Word へのデータの貼付けや差込印刷まで、Excel による一連の操作を習得します。 日本情報処理検定表計算において、各自が目指す級の合格を目標に対策を行います。				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/Week 1	Excel の特徴・画面構成・画面操作の説明・練習			
第2週/Week 2	表の作成 (ブックの作成・データ入力・連続データの入力・データの修正)			
第3週/Week 3	表の編集① (列幅調整・高さ調整・罫線の設定・データ配置)			
第4週/Week 4	表の編集② (セルや文字の書式設定・データの表示形式・行や列の挿入と削除)			
第5週/Week 5	表の編集③ (ワークシートの操作・シート名の変更・シートのコピーと移動)			
第6週/Week 6	数式練習 (四則演算子を使った数式・数式のコピー・絶対参照と相対参照)			
第7週/Week 7	関数練習① (合計・平均・数値の個数・最大値・最小値)			
第8週/Week 8	関数練習② (四捨五入・切捨て・切上げ・順位)			
第9週/Week 9	関数練習③ (条件分岐・表検索)			
第10週/Week 10	グラフの作成① (棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ)			
第11週/Week 11	グラフの作成② (複合グラフ・データ系列の追加)			
第12週/Week 12	複数シートの操作① (同時編集・データの貼付け)			
第13週/Week 13	複数シートの操作② (シート間の3D集計・異なる表の集計)			
第14週/Week 14	Excel 課題① (作業環境・基本操作について)			
第15週/Week 15	Excel 課題② (数式・グラフについて)			
第16週/Week 16	Excel 課題③ (データベースについて)			
第17週/Week 17	期末テスト			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material 日本情報処理検定 過去問題集 プリント				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

## 2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス

## 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus

授業科目 Course Title		Oral Communication for Business 2A		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期 Spring	配当年次 Grade	2 年	実務経歴 / Work Experiences 1 year experience working at an English Conversation and 2 years' experience teaching at FFLC.
授業形態 Course type	講義 Lecture	単位区分	必修 Mandatory	
授業週数 Number of Weeks	34 回	授業時間 Class Hours	Tuesday & Thursday 12:10 ~ 13:00	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences This course will focus on language used in the world of business. Using both listening and speaking communication exercises, the students will develop a vocabulary suitable for real world business interactions.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description This course will focus on strategies for communication within a business context, primarily through listening and speaking exercises. The course is structured in a way to provide students with essential information about business culture while building vocabulary, comprehension and oral fluency.				
授業目的・到達目標 / Course Objective Improve and promote confidence in students' ability to use language naturally in a business environment. Students will reinforce their listening and speaking skills through communication exercises.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Course Introduction / Student Survey			
第 2 週/ Week 2	Day 1 – Unit 1: Business Introductions / Day 2 – Unit 1 Cont. / Activity: Introductions			
第 3 週/ Week 3	Day 1 – Unit 1 Cont. / Day 2 – Cultural Spotlight: Business Cards			
第 4 週/ Week 4	Day 1 – Unit 2: Describing Companies / Day 2 – Unit 2 Cont. / Activity: Starting a Business (Group)			
第 5 週/ Week 5	Day 1 – Unit 2 Cont. / Day 2 – Cultural Spotlight: Handshakes			
第 6 週/ Week 6	Day 1 – Unit 3: Describing Occupations / Day 2 – Unit 3 Cont. / Activity: Starting a Business Cont.			
第 7 週/ Week 7	Day 1 – Unit 3 Cont. / Day 2 – Cultural Spotlight: Names			
第 8 週/ Week 8	Midterm Test (Units 1 – 3)			
第 9 週/ Week 9	Day 1 – Unit 4: Business Conversations / Day 2 – Unit 4 Cont. / Activity: Starting a Business Cont.			
第 10 週/ Week 10	Day 1 – Unit 4 Cont. / Day 2 – Cultural Spotlight: Small Talk			
第 11 週/ Week 11	Day 1 – Unit 5: Time & Schedules / Day 2 – Unit 5 Cont. / Activity: Business Presentation Prep.			
第 12 週/ Week 12	Day 1 – Unit 5 Cont. / Day 2 – Role-playing Exercises (Small Talk)			
第 13 週/ Week 13	Day 1 – Unit 6: Circumlocution / Day 2 – Unit 6 Cont. / Activity: Business Presentations			
第 14 週/ Week 14	Day 1 – Unit 6 Cont. / Day 2 – Activity: Business Presentations Cont.			
第 15 週/ Week 15	Wrap-up and Final Exam Review			
第 16 週/ Week 16	Final Exam (Units 4 – 6)			
第 17 週/ Week 17	Return & Review Final Exams			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Graham-Marr, Alastair. <i>Spotlight on Business English: Communication Spotlight 2</i> . ABAX, 2015 ISBN: 978-1-896942-52-0 Additional handouts and materials created by the instructors.				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title		Multimedia English (2A)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2 <sup>nd</sup> Year	実務経歴 / Work Experiences Integrating multimedia in the classroom plays an important role in teaching-and-learning process.
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences Students will concentrate on the theory and role that Multimedia influences our everyday lives. Learn to understand all formats used in interacting with the 5 key components of Multimedia.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description This unit presents an initial first look at multimedia and digital technologies, including an introduction to various technologies associated with multimedia development and delivery.				
授業目的・到達目標 / Course Objective Use new media and traditional media in a craftsman like way that explores the boundaries of the media				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Introductions			
第 2 週/ Week 2	What is Multimedia?			
第 3 週/ Week 3	Early & Current Examples of Multimedia			
第 4 週/ Week 4	<i>Introduce Graded Assignment 1 My Story</i>			
第 5 週/ Week 5	The Influence of Multimedia / Recording Audio/ Narration onto iMovie			
第 6 週/ Week 6	Microsoft Paint—Creating Original Imagery			
第 7 週/ Week 7	Introducing music and narration to iMovie			
第 8 週/ Week 8	Tips and tricks to make your Multimedia presentations look professional			
第 9 週/ Week 9	Is Multimedia to Blame? / Problems Associated with Multimedia			
第 10 週/ Week 10	The Positives/ Benefits of Multimedia			
第 11 週/ Week 11	<b>Presentation Day Graded Assignment 1 My Story</b>			
第 12 週/ Week 12	<i>Introduce Graded Assignment 2</i>			
第 13 週/ Week 13	Microsoft Paint—Creating Original Imagery			
第 14 週/ Week 14	The Multimedia World-- that we now live in			
第 15 週/ Week 15	<b>Presentation Day of Graded Assignment 2—Children's E-Book</b>			
第 16 週/ Week 16	<i>Introduce Graded Assignment 3—Interactive Advertising</i>			
第 17 週/ Week 17	<b>Presentation Day of Graded Assignment 3</b>			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Puppet on a String: Media Control in Our Lives. Jonathon Lynch. CENGAGE Learning 2011				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo On the successful completion of this unit, students should be able to show proficiency in producing professional platforms of digital content.				

授業科目 Course Title		Multimedia 2nd Year		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次	2 年	実務経歴 / Work Experiences I've used a variety of Multimedia throughout my teaching career. I've taught this class for close to 12 years.
授業形態	講義	単位区分	必修・選択	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences Students will concentrate on the theory and role that Multimedia influences our everyday lives. Learn to understand all formats used in interacting with the 5 key components of Multimedia.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description This unit presents an initial first look at multimedia and digital technologies, including an introduction to various technologies associated with multimedia development and delivery.				
授業目的・到達目標 / Course Objective Use new media and traditional media in a craftsman like way that explores the boundaries of the media.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Introductions			
第 2 週/ Week 2	What is Multimedia?			
第 3 週/ Week 3	Early & Current Examples of Multimedia			
第 4 週/ Week 4	<i>Introduce Graded Assignment 1 My Story</i>			
第 5 週/ Week 5	The Influence of Multimedia / Recording Audio/ Narration onto iMovie			
第 6 週/ Week 6	Microsoft Paint—Creating Original Imagery			
第 7 週/ Week 7	Introducing music and narration to iMovie			
第 8 週/ Week 8	Tips and tricks to make your Multimedia presentations look professional			
第 9 週/ Week 9	Is Multimedia to Blame? / Problems Associated with Multimedia			
第 10 週/ Week 10	The Positives/ Benefits of Multimedia			
第 11 週/ Week 11	<b>Presentation Day Graded Assignment 1 My Story</b>			
第 12 週/ Week 12	<i>Introduce Graded Assignment 2</i>			
第 13 週/ Week 13	Microsoft Paint—Creating Original Imagery			
第 14 週/ Week 14	The Multimedia World-- that we now live in			
第 15 週/ Week 15	<b>Presentation Day of Graded Assignment 2—Children's E-Book</b>			
第 16 週/ Week 16	<i>Introduce Graded Assignment 3—Interactive Advertising</i>			
第 17 週/ Week 17	<b>Presentation Day of Graded Assignment 3</b>			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Puppet on a String: Media Control in Our Lives. Jonathon Lynch. CENGAGE Learning 2011				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo On the successful completion of this unit, students should be able to show proficiency in producing professional platforms of digital content.				

2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス					2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title	Literature (2A)			担当教員 Instructor					
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2 年	実務経歴 / Work Experiences					
授業形態 Course type	講義	単位区分	必修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社での英語対応業務/接客 3 年</li> <li>・英会話講師 1 年</li> <li>・高等学校での教職 5 年</li> <li>・福岡外語専門学校で英語指導 2 年</li> </ul>					
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)						
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences									
Charles Dickens, <i>Great Expectations</i> (1860-61) (チャールズ・ディケンズ『大いなる遺産』)を読み、物語の内容を理解し楽しみながらイギリス文学の特徴や文化について学ぶ。グループディスカッションやアクティビティーを交え、理解を深める。									
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description									
チャプターごとに区切って読み進め、読んだ内容の要約および章末問題を解く。グループに分かれ、要約した内容や問題の解答を発表する。									
授業目的・到達目標 / Course Objective									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリス文学作品を通して、イギリス文学の特徴や文化を学ぶ</li> <li>・読解内容を要約し、内容についての意見を伝えられるようになる</li> </ul>									
週	授業計画 / Course Schedule								
第 1 週/ Week 1	Introduction イギリスの歴史、文化の考察								
第 2 週/ Week 2	Chapter 1 Pip meets a stranger								
第 3 週/ Week 3	Chapter 2 Catching a convict								
第 4 週/ Week 4	Chapter 3 An opportunity for Pip (前半)								
第 5 週/ Week 5	Chapter 3 An opportunity for Pip (後半)								
第 6 週/ Week 6	Chapter 4 A present from a stranger								
第 7 週/ Week 7	Chapter 5 Pip's sister is attacked								
第 8 週/ Week 8	Chapter 6 Great Expectations								
第 9 週/ Week 9	Chapter 7 Pip arrives in London								
第 10 週/ Week 10	Chapter 8 Visiting Wemmick and Mr Jaggers								
第 11 週/ Week 11	Chapter 9 A visit from Joe								
第 12 週/ Week 12	Chapter 10 Pip and Herbert talk about love / Chapter 11 Pip attends a burial								
第 13 週/ Week 13	Chapter 12 Pip discovers the truth / Chapter 13 Planning Magwitch's future and hearing about his past								
第 14 週/ Week 14	Chapter 14 Pip visits Estella and Miss Havisham again / Chapter 15 Shelter for Magwitch								
第 15 週/ Week 15	Chapter 16 Miss Havisham realizes how Pip has suffered / Chapter 17 Pip is close to death								
第 16 週/ Week 16	Chapter 18 The end of Magwitch's story								
第 17 週/ Week 17	Chapter 19 A wedding								
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material									
Great Expectations – Charles Dickens (Penguin Readers)									
成績評価 / Evaluation									
成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。									
備考 / Memo									

授業科目 Course Title		L&R 2A		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	1 年	実務経歴 / Work Experiences 1997 年～専門学校、大学非常勤講師、 大手企業等英語講師 1998 年通訳ガイド資格取得以来数多くの通訳ガイド業務 2020 年観光庁による全国通訳案内士インバウンド対応一級語学講師	
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修		
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)		
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences TOEIC スコアアップを経験に基づき効率のよい方法で、かつ総合力を上げ実践に役立つようにする					
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description TOEIC に必要な語彙力・文法の基礎力および応用力・リスニング力強化					
授業目的・到達目標 / Course Objective TOEIC の出題傾向に慣れ、更なるスコアアップを目指す					
週	授業計画 / Course Schedule				
第 1 週/ Week 1	公式問題集 8 テスト 1				
第 2 週/ Week 2	語彙	公式問題集 8	テスト 1	宿題チェック	
第 3 週/ Week 3	語彙	公式問題集 8	テスト 1	宿題チェック	
第 4 週/ Week 4	語彙	公式問題集 8	テスト 1	ハンドアウト	宿題チェック
第 5 週/ Week 5	語彙	公式問題集 8	テスト 1	ハンドアウト	宿題チェック
第 6 週/ Week 6	語彙	公式問題集 8	テスト 1	ハンドアウト	宿題チェック
第 7 週/ Week 7	語彙	公式問題集 8	テスト 1	ハンドアウト	宿題チェック
第 8 週/ Week 8	語彙	公式問題集 8	テスト 2	ハンドアウト	宿題チェック
第 9 週/ Week 9	語彙	公式問題集 8	テスト 2	ハンドアウト	宿題チェック
第 10 週/ Week 10	語彙	公式問題集 8	テスト 2	出る 1000 問	宿題チェック
第 11 週/ Week 11	語彙	公式問題集 8	テスト 2	出る 1000 問	宿題チェック
第 12 週/ Week 12	語彙	公式問題集 8	テスト 2	出る 1000 問	宿題チェック
第 13 週/ Week 13	語彙	公式問題集 8	テスト 2	出る 1000 問	宿題チェック
第 14 週/ Week 14	語彙	至高の模試	テスト 1	出る 1000 問	宿題チェック
第 15 週/ Week 15	語彙	至高の模試	テスト 1	出る 1000 問	宿題チェック
第 16 週/ Week 16	語彙	至高の模試	テスト 1	出る 1000 問	宿題チェック
第 17 週/ Week 17	語彙	至高の模試	まとめ	出る 1000 問	宿題チェック
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ・ TOEIC L&R TEST 出る単特急金のフレーズ・L&R 公式問題集 Vol.8・TOEIC L&R テスト文法問題でる 1000 問・TOEIC L&R テスト至高の模試 600 問 他 ハンドアウト、過去問等					
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。					
備考 / Memo 毎回単語チェック他 文法・リーディング問題等宿題とする					

授業科目 Course Title		Grammar (2A)		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次 grade	2 年生	実務経歴 / Work Experiences 2007 年より、本校及び企業において英語の 4 技能及び検定試験対策の指導。2009 年より、主に警察関係の通訳業務。
授業形態 Course type	講義	単位区分 Category	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	60 単位時間 (3 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences 英文法の練習問題の解答で満足することなく、より実践的な「読む、書く」という作業の中でマスターする。				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description 文法の基本事項を簡単に復習した上で、様々な分野から選んだ興味深い内容の長文の中で実際にどのように使われているか発見→理解→作文を繰り返す。				
授業目的・到達目標 / Course Objective これまでに習得した基礎から応用にいたるまでの文法項目を、長文読解やリスニング教材の中でスムーズに理解できるようにする。さらに、作文やスピーキングに使えるようになる				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (文化) (1)			
第 2 週/ Week 2	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (文化) (2)			
第 3 週/ Week 3	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (文化) (3)			
第 4 週/ Week 4	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (科学) (1)			
第 5 週/ Week 5	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (科学) (2)			
第 6 週/ Week 6	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (科学) (3)			
第 7 週/ Week 7	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (政治) (1)			
第 8 週/ Week 8	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (政治) (2)			
第 9 週/ Week 9	基本の復習 (TOEIC Part5 より) & ニュース・社説 (政治) (3)			
第 10 週/ Week 10	中間テスト			
第 11 週/ Week 11	基本の復習 (TOEFL ITP より) & ニュース・社説 (スポーツ) (1)			
第 12 週/ Week 12	基本の復習 (TOEFL ITP より) & ニュース・社説 (スポーツ) (2)			
第 13 週/ Week 13	基本の復習 (TOEFL ITP より) & ニュース・社説 (芸術・娯楽) (1)			
第 14 週/ Week 14	基本の復習 (TOEFL ITP より) & ニュース・社説 (芸術・娯楽) (2)			
第 15 週/ Week 15	基本の復習 (TOEFL ITP より) & ニュース・社説 (芸術・娯楽) (3)			
第 16 週/ Week 16	期末テスト			
第 17 週/ Week 17	期末テスト復習			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material ①英字新聞、ニュースサイトより ②各種試験練習問題				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				



授業科目 Course Title		English Composition 2A		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次	1 年	実務経歴 / Work Experience I have taught English speech and presentation skills to private and group lesson students at my own English language school in Japan.
授業形態	講義	単位区分	必修	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experience Students will focus on writing several types of academic essays (e.g. Compare/Contrast, Cause/Effect) as well as practicing timed writing that should help them prepare for Eiken, TOEFL, or other similar tests. Finally, students begin to look at how to do research and use sources in their writing.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description The textbook <i>Effective Academic Writing 3</i> helps students build on what they learned last year about writing a 5-paragraph essay. Also, students will keep a "writing journal" like they did last year, but the focus this time will be on timed writing tasks commonly found on proficiency tests.				
授業目的・到達目標 / Course Objectives 1) To review the basic elements of an academic essay, 2) build on skills learned in 1 <sup>st</sup> year in writing academic essays, 3) improve ability to complete timed writing tasks, and 4) conduct research in English and incorporate source material into their writing.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Intro to the course; Review "Quiz" from Writing 1; Text Unit 1 overview p. 1 - 4			
第 2 週/ Week 2	Journal / Textbook Unit 1 p. 5 - 14 /			
第 3 週/ Week 3	Journal / Unit 1 cont. p. 15 - 27			
第 4 週/ Week 4	Journal / Unit 2 intro (Comparison-Contrast) / make outline / HW: rough draft			
第 5 週/ Week 5	Journal / Unit 2 cont. / peer edit /			
第 6 週/ Week 6	Journal / Unit 2 cont. / reliability of websites p. 44 /			
第 7 週/ Week 7	Journal / Unit 2 Review			
第 8 週/ Week 8	Review and Midterm Test			
第 9 週/ Week 9	Journal / review tests / handouts			
第 10 週/ Week 10	Journal / Unit 3 intro (Cause-and-Effect) / make outline / HW: rough draft			
第 11 週/ Week 11	Journal / Unit 3 cont. / peer edit /			
第 12 週/ Week 12	Journal / Unit 3 cont. / quoting from a source p. 80 - 82			
第 13 週/ Week 13	Journal / Unit 3 Review			
第 14 週/ Week 14	Journal / misc. textbook exercises / Unit 2 and 3 Review Exercises			
第 15 週/ Week 15	Review for Final Exam / Practice Test			
第 16 週/ Week 16	FINAL EXAM (Units 1 - 3)			
第 17 週/ Week 17	Return Exams and Final Review of Semester 1			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Materials <i>Effective Academic Writing 3 (2nd Edition): The Researched Essay</i> by Alice Savage Patricia Mayer Oxford University Press 2012, ISBN: 9780194323482				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。(Exam 40%, Attendance 30%, Class participation/coursework 30%)				
備考 / Memo				

授業科目 Course Title	Bus. Of Eng./ Marketing 2 <sup>nd</sup> Year		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	後期	配当年次 grade	2 年	実務経歴 / Work Experiences I've worked in the Hospitality and Retail Industry for more than 10 years before teaching. I've taught Business classes for over 15 years.
授業形態 Course type	講義	単位区分	必修・選択	
授業週数 Number of Weeks	17 週	単位時間 Credit Hours (単位数 Credit)	40 単位時間 (2 単位)	

実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences

This class prepares students for international work in Marketing and Business abroad. This course will engage and guide students in what is expected overseas in the business world.

授業概要 (学修内容・方法) / Course Description

This class will focus heavily on the four key aspects of international business—leading people, managing projects, change and working virtually. Marketing is the key focus in all 4 areas.

授業目的・到達目標 / Course Objective

Bus. Of English and marketing provides comprehensive training in the skills proven to be necessary to communicate successfully in the world of international business.

週	授業計画 / Course Schedule
第 1 週/ Week 1	Introductions—The International Marketing Environment Part 1
第 2 週/ Week 2	The Marketing Mix – The 4 P's / Why do we need a stock market?
第 3 週/ Week 3	NASDAQ 100—let's invest in 2 companies on the Nasdaq 100
第 4 週/ Week 4	The Marketing Mix Part 2
第 5 週/ Week 5	AIDA Selling System
第 6 週/ Week 6	SWOT Analysis
第 7 週/ Week 7	Marketing Strategy
第 8 週/ Week 8	Marketing Plan
第 9 週/ Week 9	Marketing Ethics
第 10 週/ Week 10	Vocabulary Exam
第 11 週/ Week 11	The Market Environment – Micro Environment
第 12 週/ Week 12	Macro Environment
第 13 週/ Week 13	Legal Aspects of Marketing
第 14 週/ Week 14	The Consumer Protection Act Research 1 & 2 W2
第 15 週/ Week 15	Review / Finish up everything – make sure students have all answers from units 1~8
第 16 週/ Week 16	Presentation of NASDAQ 100 results –make sure students have all answers romer worksheets
第 17 週/ Week 17	Exam

使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material

Professional English in Use—Marketing. Cate Farrall / Marianne Lindsley. CAMBRIDGE 2008

成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。

備考 / Memo: There will be 1 vocabulary exam half-way through the course and 1 Marketing exam at the end of semester

授業科目 Course Title		Advanced English TOEFL 2 <sup>nd</sup> Year		担当教員 Instructor
開講時期 Term	前期	配当年次	2年	実務経歴 / Work Experiences TOEFL is something I have taught on and off in my time in Japan. I developed an intensive TOEFL iBT course for High School students.
授業形態	講義	単位区分	必修・選択	
授業回数 Number of Classes	34回	授業時間 Class Hours	月 Thu 日 10:30 ~ 12:00	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences Students are given instruction and practice in everything TOEFL iBT. Step by step lessons will help students break down the tasks, preparing them with the essential skills to score well on the test.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description This class aims to develop students' ability for success in preparation for the TOEFL iBT.				
授業目的・到達目標 / Course Objective This is a course that will run for 2 semesters but the 2 <sup>nd</sup> semester will concentrate on another standardized English test IELTS. The text will provide insight into the various aspects of TOEFL iBT.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第1週/ Week 1	Introductions—Introduction to TOEFL iBT			
第2週/ Week 2	TOEFL iBT Practice Test			
第3週/ Week 3	TOEFL Reading: Vocabulary and Inference questions			
第4週/ Week 4	Completing summaries and charts / Reference questions			
第5週/ Week 5	<b>Reading Review Test</b>			
第6週/ Week 6	TOEFL Listening: Overview of Listening questions			
第7週/ Week 7	Listening note taking			
第8週/ Week 8	<b>Listening Review Test</b>			
第9週/ Week 9	TOEFL Speaking: Independent Speaking intro.			
第10週/ Week 10	Integrated Speaking intro.			
第11週/ Week 11	<b>Speaking Review Test</b>			
第12週/ Week 12	TOEFL Writing: Integrated Writing task intro.			
第13週/ Week 13	Independent Writing Task intro.			
第14週/ Week 14	<b>Writing Review Test</b>			
第15週/ Week 15	<b>Practice Test 1</b>			
第16週/ Week 16	Review Test 1			
第17週/ Week 17	<b>Practice Test 2</b>			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material A variety of TOEFL textbooks will be used and supplements will be given by teacher TOEFL SKILLS 1 Alastair Graham Marr, Ben Naismith, Andrea Castro, ABAX 2021				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo The instruction and practice with tutorials closely mirror the TOEFL® test—practicing the test is key to this class				

2022 年度 福岡外語専門学校 シラバス 2022 Fukuoka Foreign Language College Course Syllabus				
授業科目 Course Title	Academic Essay Writing 海外編入 Overseas Transfer Class		担当教員 Instructor	
開講時期 Term	前期 Spring	配当年次 grade	2 年	実務経歴 / Work Experiences 1 year experience working at an English Conversation and 2 years' experience teaching at FFLC.
授業形態 Course type	講義 Lecture	単位区分	必修 Mandatory	
授業週数 Number of Weeks	17 回	授業時間 Class Hours	Wednesday 12:10 ~ 13:00	
実務経験に基づいた授業内容・方法 / Course Content & Method based on Instructor's Work Experiences In order to ensure our students' smooth transfer to affiliate universities abroad, we will focus on developing appropriate essay writing skills. This includes correct essay formatting, citation and quotation techniques.				
授業概要 (学修内容・方法) / Course Description Students will learn how to write research papers necessary for studying abroad in a university. The students will decide on a topic from a provided theme and research suitable sources to use for their essays. Students will also learn how to create a resume fitting to the standard used abroad.				
授業目的・到達目標 / Course Objective Students will learn what a research paper is and accumulate the necessary background knowledge for success after transferring abroad. Students learn to express personal opinions on any given theme and support their ideas through research, quoting and citing.				
週	授業計画 / Course Schedule			
第 1 週/ Week 1	Course Introduction ・ English Resume Writing			
第 2 週/ Week 2	Resumes in the West			
第 3 週/ Week 3	Writing a Resume			
第 4 週/ Week 4	The Academic Essay - What Makes an Academic Essay?			
第 5 週/ Week 5	Plagiarism			
第 6 週/ Week 6	References & Citations ① In-text Citations			
第 7 週/ Week 7	References & Citations ② Quotations & Paraphrasing			
第 8 週/ Week 8	References & Citations ③ Making a Reference List			
第 9 週/ Week 9	Different Citation Styles			
第 10 週/ Week 10	Research Paper: Choosing a Theme for Research Topic / Research			
第 11 週/ Week 11	Research Paper: Narrowing Research Topic / Research			
第 12 週/ Week 12	Research Paper: Finalizing Research Topic			
第 13 週/ Week 13	Research Paper: Creating an Outline			
第 14 週/ Week 14	Research Paper: Refining Outline / Citation list creation			
第 15 週/ Week 15	Research Paper: Writing the First Draft			
第 16 週/ Week 16	Research Paper: Peer Review from Teachers and Peers			
第 17 週/ Week 17	Research Paper: Final Draft Submission			
使用テキスト及び補助教材 / Textbook and Material Najar, Robyn and Riley, Lesley, <i>Developing Academic Writing Skills</i> , MacMillan. 2004. ISBN: 978-4-89585-517-4 Oshima, Alice, and Ann Hogue. <i>Longman Academic Writing Series 4: Essays. 5th ed.</i> , Pearson, 2016. ISBN: 9780134663319				
成績評価 / Evaluation 成績は、定期試験 40%・出席状況 30%・授業参加姿勢 30%により判断し、総合点により A・B・C・D・F 評価を決定する。				
備考 / Memo				